



実施報告書

1. ミナトデハタラク ～海と日本 PROJECT～

2. NPO法人 今治シビックプライドセンター

3. 実施行事概要

今治は港から発展した町で港と商店街、中心市街地は密接な関係にあります。

平成27年7月にみなと交流センター(愛称:はーぱりー)がオープンし、港を訪れる市民は多くなっております。

今治シビックプライドセンターは平成19年の「みなと再生委員会」にて発足した団体で、今治市のみなと再生事業と協働し活動を続けてきました。平成27年のはーぱりーオープンからは、“みなとを起点とした賑わいづくり”として はーぱりーマーケットを定期的に開催してきました。

平成29年度からは、子どもさんらにみなとの思い出を創ることを目的とし【体験】をメインとしたみなとの賑わいづくりを展開しております。

今回の事業は、みなとにある財産(さまざまな事業者)と子どもさんらの体験を掛け合わせることで、子どもさんらには仕事を知って楽しんでもらう。事業者は後継者、人材確保。当団体はみなとの賑わいづくりの仲間づくり。といった三方よしの事業を考えております。分かりやすくいうとキッズニアの港・海バージョンです。

4. 実施日時

平成30年7月29日(日) 9:00~16:00 台風の為中止

平成30年9月2日(日) 9:00~16:00 規模を縮小して実施

5. 場所

みなと交流センター「はーぱりー」周辺

6. 参加人数

7月29日(日)参加応募者 子ども181名 保護者 188名

9月2日(日) 参加者 子ども42名 保護者 31名



Minato de Hataraku 「体験」申込書

保護者氏名	参加される子どもさんの氏名	年令
緊急連絡先	メールアドレス (携帯用)	
グループA体験	グループB体験	スペシャル体験
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	希望する

※体験メニューは、当日の状況により変更される場合がございます。ご了承ください。

7. 今回の内容で注意した点

①単に業務内容を子どもたちに体験させるにとどまらず、

「発注・受注・受益者をしっかりと認識させた上で体験してもらうことを考えました。

その上で開始前に任命書を渡すこととしました。



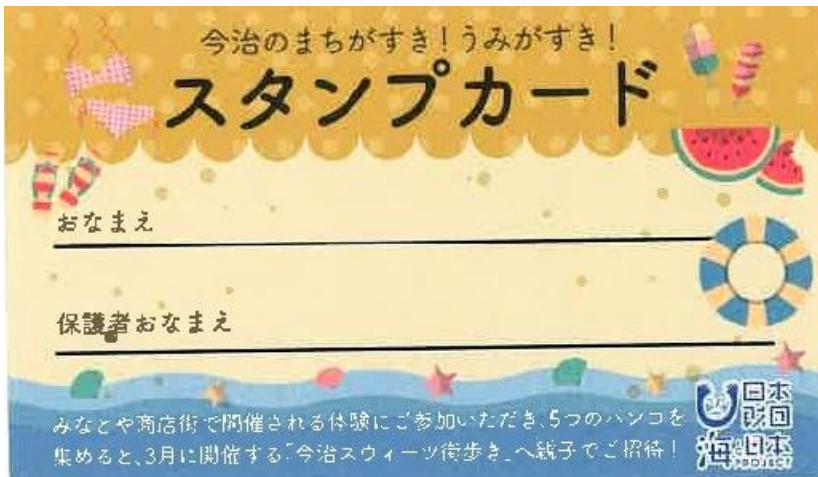
ミナトデハタラク任命書

みなさんは、今治の「たからもの」です。今治には、海のざいさんがいっぱいあります。今日は2つしかたいけんできませんが、ほかにも、海のおしごとがたくさんあることをおぼえてかえってください。そして、これからも海を好きでいてください。今治の海のしごとをたいけんすることで、今治をじまんしてください。

 グループ A	 グループ B
<p>1. 一日せんちょう 「海」や「船」にかんしんをもってもらうために弓削商船高等専門学校「弓削丸」にのります。この船はせんいんになるためのハイテクれんしゅう船です。弓削商船は、かいじょうゆそう・船のうんこうにかかわる、ざじゅつしやをそだてています。</p> 	<p>1. ぜいかんのしごとって何? ぜいかんは、せんこくのみなとや、くうこうにあり、やくそくがきちんとまもられるように、がいこくにおくるものや、がいこくからおくられてくるものについて、チェックしたり、しなものをけんさしたりして、日本のくにをまもっています。</p> 
<p>2. りょうにしゅっぱつ みなさんは魚を食べてますか? みんなが魚を食べることが、海のかんさようをまもることにもつなげられます。今治のおいしい魚にかんさようみをもってください。</p> 	<p>2. カフェ・レストランでのおしごと はーぱりーから見える海のけしきは、すばらしいけしきです。たくさんの人に、このすばらしい海のけしきを、りょうりやのみものといっしょに、たのしんでいただくためのおしごとです。</p> 
<p>3. ヨットにゆられてみよう ヨットにのったことがありますか? 風の力ですすむ船です。ゆっくり波にゆられてみてください。みんなのしらない海のみりよくをかんじるとおもいます。</p> 	<p>3. 船がつくときのおしごと にもつのうけわたし、おきゃくさんへのあんないなどをすんだいじなおしごとです。今治のみなとには5つの、ていぎこうがあり、1年中やすすみなく人やものをこんでいます。</p> 
<p>4. しんぶんきしゃ みなは、しんぶんをよんでいますか? しんぶんきしゃは、だいじなこつたえのおしごとです。いろんなばしょに行って、おはなしをきいて、さくぶんをして、しんぶんのにせます。</p> 	<p>4. 木で船を作ってみる 今治にはぞうせんしょがあり船をつくっています。今日はいろんな木を使って、しぶんでかんがえてせかいにひとつの船をつくってみて。</p> 
<p>5. ニュースを作ってみよう 日ごろ、みなさんがテレビで見ているニュースは、どうやってできているのでしょうか? じっさいに、カメラでさつえいし、キャストになってニュースをよみます。</p> 	<p>5. ビンに海をとじこめる ハーバリウムのたいけんをしてもらいます。キレイなこものをビンにつめてしぶんだけのせかいをつくってみて。</p> 
<p>6. 魚をちょうりしてみる 「たいめし」は今治のきょうどりょうりです。みんなもたいめしをつくれるように、大浜漁協女性部のおかあさんにおしえてもらいましょう。</p> 	<p>6. せかいの海で船をうごかすしごと 今治には、かいりんぎょうのおしごとをしている人がいっぱいいます。船をもつ、せんしゅさんになって、せかいの海で、今治の船がかつやくしているようすをみていただきます。</p> 
<p>7. ちくわづくり 今治に、かまぼこやさんがいっぱいいるのは、おいしい魚が今治でとれるからです。ちくわ・かまぼこなど、魚をざいりょうとしてつくりま。</p> 	<p>7. みなとまちあるき 今治港は、しこくではじめて、せかいとほうえきをしてもいい、みなとになりました。みなとには、いろいろなせきひがあります。新しいはーぱりーのこと、むかしのみなとのことを見てまわってください。</p> 



②単発イベントにとどまらず今治市内の体験イベントと連携



スタンプを五つ集めたら、3月開催のスイーツイベントに招待する形をとりました。



7月・9月・10月・11月・12月に開催されるはーばりーマーケットや今治体験商店街(ピニャータ)に参加するとハンコを1つ押します。いろんなイベントや体験を1日に複数回まわられてもオッケーです。ハンコが5個集まりましたら、下記までご連絡してください。3月のイベントのご予約に入れておきます。

《主催/お問合せ》特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター
TEL 080-6382-2619

8. 記録写真



漁に出発

今治漁協同組合さんの協力のもと実際に漁に出ました。約2時間の行程での底引き網漁を体験。魚が挙げたことへの歓喜もさることながら、ゴミの多さにも子どもたちはびっくりしていました。



木で船を作ってみる

キットではない、オリジナルのの船をまず思い浮かべることからスタート。子どもたちの創造性を高めるには木を使ったふねづくりが最適。



世界の海で船を動かす仕事

学校では教えてくれない船と社会の繋がりや仕組みをワークショップ形式で紹介。新しい海運に関する授業が始まった予感。



ビーチグラスアクセサリーづくり

ビーチグラスをつかったオリジナルアクセサリーを作成。次回は実際に浜にでかけ、自分でとったビーチグラスでアクセサリーにするコンテンツがイメージできました。

海の魅力たっぷり



小学生、今治港で体験



海事都市今治ならではの仕事を子どもが体験するイベント「ミナトデハタラク」が9月2日、今治市片原1丁目の市みなと交流センター「はーばりー」であった。市内外の小学生33人が参加し、働くことへの興味と関心を深めた。

NPO法人シビックプライドセンターが、港や海で

ミナトデハタラク新聞

しおんカメラマン

ジュニアえひめ新聞
「スマイル！ピント」
毎週日曜日発行

の仕事に興味を持ってもらおうと初めて開いた。7月に開催予定だったが台風の影響で延期になったため体験ブースは減ったものの、漁体験や船の仕事に関するワークショップ、工作などを業しんだ。

「瓶に海を閉じ込める」体験では、15人の児童が目殻などを瓶に詰めるハーバリウム作りに挑戦した。

参加した乃万小1年の山神結衣さん(7)は「ピンクが好きなのでピンクのイメージで作りました。何を入れるか選ぶのが楽しかったです」と笑顔でした。

新聞記者になってみよう

愛媛新聞さんの協力により、「伝える」という仕事を体験。子どもたちは初めてのことにとまどいつつも取材を堂々としていました。



瓶に海を閉じ込める

貝殻や海藻をモチーフとしてハーバリウムを実施女の子はすごく喜んで実施していました。



参加者の声

木で船を作るでは、初めて鋸や釘を使って楽しかったようです
漁に出発では、網で沢山の魚が取れた感動もありましたが、それ以上に多くのゴミが網にかかっていたことに驚いたようです。親子で環境汚染について考えさせられました
また機会がありましたら、ぜひ参加させていただけたらと思います
本当にお世話になりました

とても楽しいイベントで1日満喫させて頂きました。

子供は生まれて初めての職業体験でした。

午前中の漁体験

漁船に乗れたこと、採れた魚の事、をととても熱心に話してくれました。自分達が食べている魚がどうやって採れているか、どれだけの人が頑張っているかを自身の目で見る事が出来たこととても貴重な体験でした、
また、いただいて帰った魚を調理して食わず嫌いのイカを食べることが出来ました。

船を作ろうでは、指導して下さったボランティアの方が「船の形は子供がしたいように子供がやる。俺らは子供のこうしたい。を形にするサポート。」とおっしゃってたのにととても感動しました。

学校では、「このぐらいの大きさのものをこれだけの材料でやりなさい」というけど、「ここにあるもので船を作りましょう」という、同じ《ものを作る》でも、学校や家庭ではなかなかできない経験をさせて頂いてるんだな。と大変有難かったです。
作った船は、家に帰るなり「僕の船！」と、自慢していました。

本人いわく、海上保安庁のお仕事を体験してみたいと話していました。

来年も開催して頂けるのであれば、違うお仕事体験をさせて頂きたいので絶対参加します！

最初は生憎の台風でしたがリベンジをして下さってありがとうございました。

企画して下さった方、段取りして下さった方、ボランティアで指導して下さった方、お手伝いの学生さん、子供たちの為に本当に感謝しかありません。

ありがとうございました。

漁体験に行った時に色々教えてもらったようで、私にも教えてくれました。

木で船を作ったのも、おもしろかった。と言っております。宝物にするらしいです😊

漁体験で集合してたのを気がつかず、関係者の皆さまにご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。

1日中、親子で楽しめました。ありがとうございます。

朝、漁体験をさせていただき、近くで見る深い海、そこで取れた沢山の魚、中には鮫も混じっていたみたいで、とても喜んでいました。

採れた中から、イカを分配していただき、一緒に調理して、普段だったら、好んで食べないイカですが、自分が漁にでて、自分が調理した喜びでお箸が進みました。はやくも将来は漁師になりたい。新鮮なお魚を家族に食べさせてあげたい。と伝えてくれました。

将来的に、沢山の職業の中から、自分のやりたい仕事を探していくことになると思うので、このようなお仕事イベントに参加し、将来の選択肢を増やしていけたらと思います。リベンジ企画、ありがとうございました。

日常生活では体験できない漁師さんの日常を体験できたし、魚🐟に対しても、普段食べている食材、食事に関心を持つようになりました。あのあと、早速 釣竿を買わされました 笑笑

あぶないから結局は何もかも遠ざけていた自分を反省するのと、同時に 今は子供が私達を動かしてきています。

早速ですが、釣りの本を購読するところから始めます。

木工体験も、建築の仕事にはついてますが、一緒に何かを作ったりの経験はなく、時間はかかりましたが、作ることができると本人には自信がついたようです。母も、木工体験で、椅子を作りたいです^^

新しくなってから 駐車場や事情がわからなくて、一方通行だったりいろいろくるまの往来が複雑なのかもしれないといくことがなかったのですが、また是非参加したいです！

その後の写真

